

令和4年度 第4回 紀南高等学校運営協議会 議事概要

日 時	令和5年3月2日（木）19：00～20：50
場 所	紀南高等学校会議室
出席者 (敬称略)	辻本、西、喜田、廣畑、長阪、田尾、産屋敷、二村、山本、立嶋、中嶋 (県教育委員会) 大屋、津村、渡部 (紀南高校) 堀越、西垣戸、湊、中道、松本
欠席者 (敬称略)	水谷、南
議 事	<p>1 報告事項</p> <p>(1) 「第3回紀南高等学校学校運営協議会」議事概要について</p> <p>(2) 学校の取組について</p> <p>(3) 新活性化プラン結果報告</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) 学校マネジメントシート年度末評価について ⇒ 承認 ・令和5年度より新形式のシートとなるため、新活性化プランと一本化。</p> <p>(2) 再登校指導の廃止について（生徒指導・支援部より） ⇒ 承認 ・生徒が落ち着いていること、学習保障の必要性、特別支援の必要な生徒へのサポート充実の3点を理由に廃止する。入学式では学校運営協議会長から、保護者への協力依頼は継続する。</p>
主な意見	<p>(3) 令和7年度からの紀南地域高等学校統合について ⇒ 意見交換</p> <p>・総合学科では多様な系列が必要なので、紀南校舎に2クラスを置き、選択が出来るようにする。1クラスでは意味がない。熊野市より南牟婁郡の生徒が多いので、紀南は1クラスだと定員オーバーになる。自転車通学も多い。最近、中学生からの紀南高校への評価が高まっていると実感している。</p> <p>・本校の卒業生からも心配の声があがっている。総合学科で2クラスを埋めるだけ頑張ればいい。令和5年度後期選抜では、木本の普通科が大きく定員を割れているのに比べ、紀南は定員を満たしているため、期待に応えるべく県教委には力を貸して欲しい。</p> <p>・1クラスでも紀南校舎に残ったことを前向きに考えたい。今後どのように生徒募集をするのか、紀南校舎希望者は全員ここで学べるのか、例えば60人となった場合、30人1クラスで出来るのか、案を出したい。</p>

- ・これまで培ってきた学校の特色はどう生かされるのか。
- ⇒ (県教委) それぞれの特色は活かしつつ、コミュニティ・スクールは活かす。連携できるところはする。今まで出来なかったことも出来るようになる。紀南の培ってきたものを大切にしたい。
- ・就職するなら紀南高校へ行けばよかったという声を聞く。2クラスとも紀南に置いて、「地域産業とみかん」等の授業の持ち味を活かし、地域の大事な人材を育成して欲しい。地区外への流出は防ぎたい。地域の産業を守るという課題もある。
- ・校舎が離れてしまっているメリットがわからない。
- ・木本校舎3、紀南校舎2クラスが良い。普通科を希望する生徒が多い。今、こんなに人気があるのに1クラスにしないで欲しい。民意に蓋をしないで合理的な納得が欲しい。紀南地区の最後の協議会も、最後に委員長と副委員長で決めた感があったので、強引だと感じた。
- ・中学校では支援が必要な生徒が一定数いる。紀南高校が受け皿となり、希望者も増加している。紀南に来たい生徒は紀南に入れるように、くくり募集を実施して欲しい。
- ・紀南校舎には2クラス規模が必要。くくり募集で紀南校舎希望者は、希望とおりの校舎に通学できるようにするべき。令和7年度から12年度も見据えて2校舎の学びが保障されるかが問題。スクールバスの配置や教員定数など柔軟に対応して欲しい。一般的な定数では、学びは保証されない。1校にすることでより充実した学校になるように豊かな高校を作るため、ワーキングの中身が問われる。
- ・今のままだと新宮へ流れる。入試枠を緩和して全国から募集できるなど考えるべき。35人学級×3クラスを紀南に置く、木本は普通科2クラス、木本定時制を中間定時制にするなど思い切った発想をしないと地域には残らない。地域に残る人材を増やしたい。
- ・合併することでいい学びに繋げ、良かったと言えるように頑張ってもらいたい。
- ・通学の観点から、木本校舎が普通科2クラスと総合学科1クラス、紀南校舎が普通科1クラスと総合学科1クラスがよい。
- ⇒ (県教委) 入試のしくみもしっかり検討、議論する。5学級規模の部活動を作る。学校運営協議会はこのまま残したい。

(4) その他

- ・廣畑会長より、次年度の会長を交代してもらえないかとの意向が示される。
- ⇒ 今回、立候補はなかったが、次年度の初回会議開催までに調整が必要。

3 連絡事項

- (1) 年度末アンケート、来年度以降の委員意向調査の提出
- (2) 来年度からの会議案内は、メールか郵送か選択していただきます。
- (3) 防災セット販売は、3月18日(土)19日(日)に実施します。
- (4) 成果発表会への出席依頼をしました。出欠票を御提出ください。